

平成 27 年度 政務活動のあらまし

民主党・無所属クラブ
幹事長 あべ祐美子

●はじめに

統一地方選後の初年度となる平成 27 年度は、6 人の議員で新会派「民主党・無所属クラブ」を結成し、活動をしてまいりました。旧会派「民主・改革ネット」に引き続き、区内諸団体との意見交換会を開催して区長への政策要望を提出したり、会派として豊島区役所を視察。区や区議会での ICT 導入の経緯と成果、課題などについてヒアリングしました。このほか、各議員が品川区政や区民生活に関わる問題意識に基づいて調査研究を行い、定例会での代表質問や一般質問、予算・決算特別委員会での質疑、次年度に向けた政策提言等に反映させました。

●調査研究・研修活動等

・医療的ケアを必要とする就学前児童の保育に関する区民からの相談を契機に、医療的ケア児に関する調査を実施。5 月には、杉並区内に設置された民間の障害児専門保育施設「ヘレン」を視察。その後の区への働きかけを通して、障害児への訪問保育利用時の助成制度新設に結びつきました。

・学校のネットいじめの深刻化を背景に、7 月に大阪市で開かれた日本学校心理学会に参加。スマホ時代のリスクなどについて、現状を学ぶとともに関係者と意見交換し、第 4 回定例会での一般質問に反映させました。

・防災に関する研究の一環として 8 月に福島県を訪問。東日本大震災 5 年が経つ福島での子どもの状況、女性の視点からの防災対策などについて視察しました。

・区内でも深刻化し新たに条例が制定された空き家問題に関し、12 月に開催された空き家問題シンポジウムに参加。除却等の対策と有効活用の両面から、品川区の地域性を踏まえて検討しました。

このほか、保育園の質の低下防止、認知症カフェ等認知症高齢者を支える地域づくり、羽田空港の機能強化のため品川区上空が飛行ルートとして検討されていることによる懸念を踏まえた国交省担当部署との継続的な意見交換等、各議員の問題意識に応じた活動、意見交換等を精力的に行いました。

●区民・地域団体から意見聴取

区内各種団体との意見交換会の場を設けたほか、日常的に町会・自治会、商店街、任意団体、スポーツ団体、民謡団体等の幅広い団体の活動やイベント等に積極的に参加し、それぞれの団体が抱える課題等の把握に努めました。これらをもとに会派において取り纏めを行い、平成 28 年度に向けた予算要望書を区長に提出しました。

●おわりに

今後も、会派メンバーの問題意識や得意分野を生かして研鑽を重ね、区内の幅広い団体や区民の声にアンテナを立てながら、施策の実現を目指して活動してまいります。